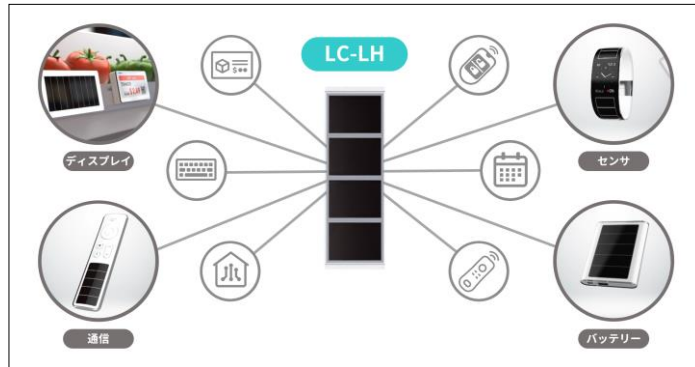


微弱な屋内光でも高い発電効率で、様々な製品に電源供給
配線や電池交換が不要で設置しやすく、使い捨て電池の削減にもつながる

屋内光発電デバイス『LC-LH』が 「CEATEC AWARD 2022」の『経済産業大臣賞』を受賞



CEATEC
AWARD



10月18日（火）より21日（金）まで開催される国内最大規模のIoTの展示会「CEATEC 2022」において、シャープが出展する屋内光発電デバイス『LC-LH（Liquid and Crystal Light Harvesting）』が、「CEATEC AWARD 2022」の『経済産業大臣賞』を受賞しました。

「CEATEC AWARD 2022」は、「CEATEC 2022」の出展品を対象に、出展者から応募のあったテーマの中から、「CEATEC AWARD 2022 審査委員会」が学術的・技術的観点、市場性や将来性などの視点でイノベーション性が高く優れている技術・製品・サービスなどを表彰するものです。

当社が出展する屋内光発電デバイス『LC-LH』は、屋内光を電気に高効率で変換できる色素増感太陽電池^{※1}と、当社が長年培ってきた液晶ディスプレイ技術を融合。腕時計や電卓などに用いられる一般的な太陽電池に対して約2倍（屋内環境下）^{※2}の発電効率を有し、小面積でもより大きな電力を出力することができます。また、電源コードが不要で電池交換の手間を省くことができるため、小型化や設置しやすさが求められる電子棚札やビーコン^{※3}、ヘルスケアや環境関連のセンサなどのIoT製品、さらには各種リモコンやモバイルバッテリー用途にも適しています。さらに、使い捨て電池から『LC-LH』搭載に置き換えることで電池の廃棄による環境負荷の低減が可能となり、便利で環境にやさしい製品の創出につながります。2023年度に液晶工場の設備を活用した、高性能、高品質、低コストな『LC-LH』の生産を予定しています。

当社は今後も、カーボンニュートラルの実現に貢献しつつ、人々の暮らしやビジネスをサポートする新たな商品・サービス・ソリューションの創出に取り組むことで、世の中に新たな価値を提供し続けてまいります。

■ 受賞内容

経済産業大臣賞 屋内光発電デバイス『LC-LH』

- ※1 色素で吸収した光を電気に変換する有機太陽電池の一種です。
- ※2 照度500ルクスの条件下で、屋内用途で一般的に使用されるアモルファスシリコン太陽電池との比較（シャープ調べ）
- ※3 電波の発信機。地下街など電波の届きにくい環境下で、代替手段としてビーコンの発信電波を受信することで、位置を特定するなどの用途に用いられます。

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp/>

【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地